

中山科学振興財団
平成22年度テーマ

「森林の人間科学」

趣意書

森林への人間科学的アプローチの仕方は、およそ多様である。地球という惑星の物理的環境の維持、そして生態系の維持に関して、森林は決定的な意味を持つ。他方、森林の作り出す環境と、人類の発生、その進化との関連もまた重要なテーマとなるだろう。さらに、文化史という立場からも、扱うべき論点は多い。燃料、建材の提供源だけでなく、信仰や宗教的儀礼、あるいは異界や物語などとの関連も、可能なテーマとなるはずである。森林の持つ情報環境的な意義も見逃せない。そのなかには、医学との関連トピックスもある。一九世紀ドイツの神学者クナイプ (Sebastian Kneipp, 1821~97) に始まる森林療法は、今や文明社会の中に住む人間たちの健康 (心身両面の) に掛け替えのないものとさえ言われる。しかも今地球上の森林は、人間の無知のために、いたるところで危機に瀕している。そうした環境保全の観点も含め、単なる個別科学の縦割りを超え、「人間」に焦点を据えた、包括的な研究の推薦、応募を切に望んでいる。